

第 5 章 令和 5 年度取組結果と今後の検討方針

(1) に令和 5 年度における下水道技術開発会議の主な取組結果を、(2) に今後の主な検討方針を示す。

(1) 令和 5 年度の主な取組結果

(課題解決技術支援ツール(試行版)の改良)

令和 3 年度に実施した自治体ヒアリングの結果を踏まえ、令和 4 年度に改良し、HP で一般公開したが、一部改良点が残っていたため、引き続き改良を実施した。

(ロードマップ重点課題の選定、ロードマップの見直し)

令和 5 年度の下水道技術ビジョン・ロードマップ重点課題を選定し公表するとともに、令和 4 年度の技術開発会議における意見を踏まえ、最近の技術動向を調査し評価した上で、ロードマップ全体を見直し、公表した。

(エネルギー分科会での検討)

技術開発の推進を目的として、下水道技術ビジョン・ロードマップにおける脱炭素関係項目に関する動向整理表を公開するとともに、新技術・効率化技術の導入促進に向けて検討すべき事項を整理した。また水処理過程から排出される N_2O の調査方法の確立を目指し、「下水処理に伴う N_2O の実態把握に向けた調査マニュアル(案)」を公開した。また地方公共団体の脱炭素化検討・取り組み支援に向けた国総研の取組について分科会からの意見を頂くとともに、将来的な全体最適化に向けた情報共有や意見交換等を継続した。

(Ge マッチングの開設)

公益社団法人日本下水道協会が運用開始した Ge マッチングの取り組みについて紹介し、参加委員に対し所属組織内での利活用を要請した。

(2) 今後の主な取り組み

令和 5 年度の実施結果および下水道技術開発会議での議論等を踏まえた、令和 6 年度以降の主な取り組みについて以下に示す。

- ① 改良した課題解決技術支援ツール(試行版)の公開及び広報・周知
- ② エネルギー分科会において、 N_2O 発生メカニズム・制御因子解明に向けた調査や全体最適化に向けた検討に対する意見・アイデア聴取等
- ③ 見直したロードマップに沿った技術開発及び導入の促進方策の検討